

2013 YMCA SUMMER CAMP



新しい友だちや、新しい出会いがあって楽しかった。

つぎもまたサマーキャンプにきたいです。

大きなせんしゃがすごかったです。

らい年も来たいです。

みんなでおどったりしてとてもたのしかったです。



サマーキャンプに参加して 青少年事業委員 藤村 哲二



皆様、猛暑が続く中お元気ですか。札幌丸が出航して一番最初の行事、7月29日～30日とサマーキャンプが開催されました。今回、私自身も実はワイズの行事、初参加となりました。あいにく、雨が小降りでのスタートになりましたが、今回は東京より子供達の指導者2名（リーダー）を招聘し札幌会長挨拶で新しいサマーキャンプの幕開けとなりました。

まずは、来宮からバスで富士山YMCAグローバル・エコ・ビレッジに向かう途中、リーダーが自己紹介とキャンプの楽しみ方を子供達に説明。話しの中、キャンプ参加者に学校から1人で参加している子をみんなできちんとフォローしようという話がありました。一番始めに子供達に大切な事を認識させるところが、印象的でした。

子供達の自己紹介後、バスの中でゲームが始まったのですが私も思わず参加してみたいくなるような楽しいゲームで、心の中で子供達と一緒にゲームに参加していました。そんなゲームを楽しみながら、バスはエコビレッジに到着。子供達をまず、部屋に案内し、開村式をBBQ場で行いました。その後、5組に別れたそれぞれのチームでワイズメンバーの車に乗り込み、鱒掴み取り場へ移動。雨の降る中、鱒の掴み取りから釣りに変更し、昼食に食べる鱒を一人一人が釣りあげ、お弁当と一緒に食べました。なかなか、鱒が釣れないのでかなり苦戦していましたが、無事に全員が釣り上げることができたのではないでしょ



うか。昼食を食べ終え、エコビレッジに戻った後、子供達はリーダー指導の元食堂で様々なレクリエーションを楽しみました。ワイズメンバーは雨が降っている

ので予定していた作業ができず、しばし休憩。子供達のレクリエーション終了後に、ワイズメンバーで夕食のBBQの用意を始めました。いつのまにか雨が上がり、



途中で中断していたキャンプファイヤーの用意をしてビニールシートを被せ、日が落ちるのを夕食を食べながら待ちました。子供達と一緒に、リーダー指導の元作ったホットドックと飯盒で作ったご飯、炭で焼いた肉や野菜を食べながら、少しづつ日が落ちていきました。この時、私が驚いた事はワイズメン



バーの手際の良さです。思わず感動してしまいました。

札幌会長の着火式で始まったキャンプファイヤーは、上半身を裸で原住民に扮したリーダーが、子供達を楽しませていました。側で傍観させて頂いていたのですが、キャンプファイヤーでこんなに盛り上がったのを今まで見た事がありませんでした。キャンプファイヤーも雨の影響を受けず無事に終わることができました。子供達が就寝した後に、少したけワイズメンバーで一席を持ち、諸兄にYMCAの歴史を語って頂きました。部屋に移動してから、リーダー2名と二見ワイズの談義「議題名にすると今後の日本青年育成について?...」は大変興味深い内容でした。

迎えた次の日はラジオ体操から始まり、昨日からの天気とは違って変わり富士山が少し顔をだしていました。私が起床し